

# 邑南町の生活困窮者自立支援事業と地域づくり

(受け止める)(つなげる)(挑戦する)

をキーワードに社協ブランド(らしさ)の  
構築を目指して



おおなんちょうしゃかいふくしきょうぎかい

社会福祉法人 邑南町社会福祉協議会  
地域福祉課 渡邊 健二





邑南町はどんなまち？

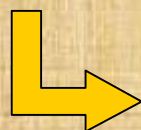
平成16年10月1日町村合併 今年で合併15周年



さだまさしアルバム  
第二楽章 (2014年9月10日発売)  
邑南町イメージソング

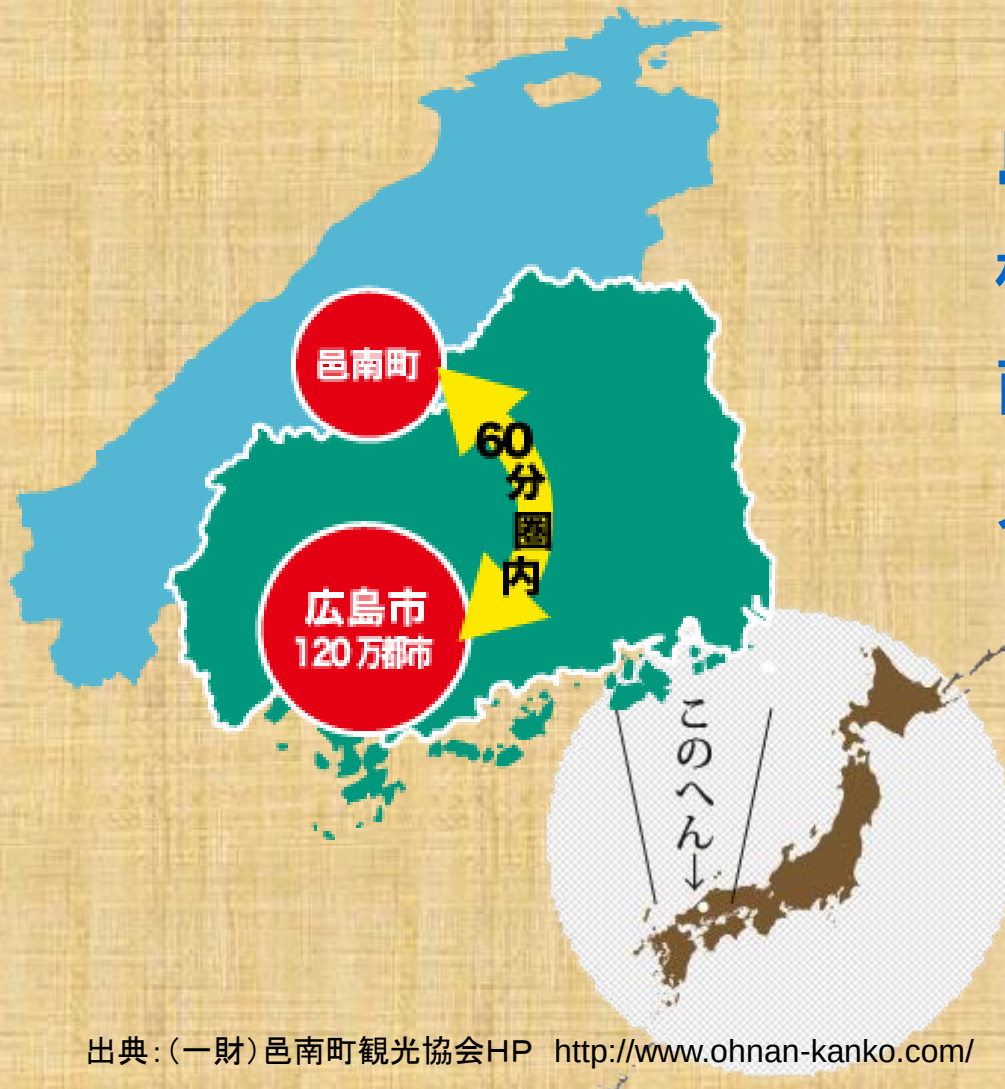
「さくらほろほろ」  
がアルバムに収録されました！

邑南町は『豊かな自然とそこから生まれる  
人のつながりと家族の温もり』が誇りです



さだまさしさんを通じて  
『邑南町の誇り』を全国にアピール！

## 島根県中央部の山間にある自然豊かな町



島根県の中央部で盆地の多い地形

標高: 100m~600m

面積: 419.22km<sup>2</sup>(山林が86%)

人口: **10,769**人(2019年2月28日現在)

男: 5,138人 / 女: **5,631**人

世帯数: 4,914世帯

高齢化率: **43.8%**

主な産業: 農林業



邑南町はどんなまち？



スイスのような風景



# 攻めと守りの定住プロジェクト(平成23年度～)

## (1) “攻め”のA級グルメ構想

「A級グルメのまち」商標登録

「食」と「農」を切り口にした町づくりを推進する邑南町のキャッチフレーズとして「A級グルメのまち」を2011年3月に商標登録。優れた食材や生産者への誇りも込めたネーミングで町全体をブランド化し、認知度やイメージの向上につなげています。

## (2) “守り”の日本一の子育て村を目指して

## (3) 徹底した地域住民のケア



# 福祉制度の外に生活課題・地域課題・社会問題 がいっぱい





# 邑南町社協 地域福祉課

## 【地域福祉係】

### 福祉活動専門員 3 名

#### ★事業内容

- ・地域福祉推進事業（S C 臨時 3 名）
- ・障がい者福祉推進事業
- ・青少年福祉推進事業
- ・ボランティアセンター事業（1 名）
- ・人材センター事業（1 名）

## 【権利擁護センター】

### 専門員 4 名（専任2名・兼務2名・支援員29名）

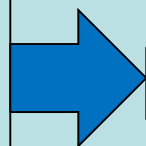
#### ★事業内容

- ・総合相談事業（10名体制）
- ・生活困窮者自立相談支援事業(11件)
- ・生活支援事業
- ・日常生活自立支援事業（11件）
- ・法人後見等受任（25件）
- ・権利擁護の普及・啓発

社協の法規定（社会福祉法第 1 0 9 条）

地域福祉を推進する団体（よく分からない）

・具体性に欠ける抽象的な規定である。



社協活動の無限性・柔軟性を担保したもの。

# 邑南町権利擁護センター

- ・ 成年後見
- ・ 日常生活自立支援
- ・ 生活困窮者自立支援

## 相談・アウトリーチ(発見、見守り)

### ①主訴

### ②収支・滞納・債務

### ③本人の展望 【プラン策定同意】

#### (1) 社協地域職ケース会議

- ・ 権利擁護担当職員
- ・ 福祉活動専門員

### 社会的困窮

#### 調査

- 心身の健康
- 生活状況

#### (2) 成育歴・特性・近況

- ・ 保健師
- ・ 障がい者相談支援事業所
- ・ 障がい者就労支援事業所
- ・ 心と体の相談センター
- ・ 民生児童委員 他

### 金銭的困窮

#### 調査

【税務調査同意】

### 生活継続切迫度判断

ひとり一品運動

おおなんレスキュー事業



【暫定プラン検討】

【支援調整会議】

### (3) 滞納状況

- ・金融機関
- ・行政(年・保・税・水)
- ・その他債権者

顧問弁護士ほか

○一般就労計画

○年金等管理生活計画

○支援付就労計画

常時共有

## ●邑南町権利擁護センター

### (4) 日常生活自立支援事業の検討

- ・サービス事業者 ・債権者
- ・金融機関 ・各相談事業所 ほか

## ●邑南町社会福祉協議会

### (5) 現況と本人の意向をもとに方針決定

- ・貸付担当職員 ・福祉活動専門員

# 納得＝行動する力になる

## ・意思決定への伴走支援が必須

- 支援者等周りの人が“良かれ”と思う事が全てではない
- “本人の在るべき姿”は一律でも、プロセスはそれぞれ
- 『断る』ことの中にも“伴走する愛情”

◎伴走する情が伝わった時、想定スペック以上の火事場力が

**共に悩み、成長する一体感**



# おおなん社協の困Q対策

- おおなんフードバンク  
(ひとり一品運動)

**自治会・地区社協などの行事に  
物品受付ブース**



- あんしん生活支援事業



生きづらさを抱えていても、  
“心強い助っ人”  
としてスカウト

歳末の緊急・切迫した生活への対処物資を





# おおなんレスキュー事業

## ①生活困窮者レスキュー事業

- ◎制度の狭間の生活困窮など様々な生活課題を抱える人々に対し、地域福祉課の生活困窮者自立相談支援員と福祉活動専門員が連携して**ワンストップ**の総合相談を行う。
- ◎公的制度やサービス等による支援が受けられず、生命に関わる緊急・窮迫した制度の狭間の生活困窮状況に対して、施設長の決済により、**おおむね10万円を限度とした「経済的援助（現物給付）」による支援**も実施する。

ゴミを一緒に片付け、生活環境の基盤を整えました。





## 邑南町の地域づくり

### 3Cを大切に

① Culture（福祉の文化）

② Care（サービスの充実）

③ Cycle（人材・財源）



# 福祉教育 学び合い・助けあい



高齢者疑似体験！  
体の動かしづらさにび  
っくりしました。



点字っていろん  
なものについて  
るんだね！



見えないって  
「怖い」誰かが  
いてくれると、  
とっても安心し  
ました。



手で触るだけだとお金の  
種類がわかりにくいなあ。



# 夏休みのリーダー研修



災害時「自分になにができるのか」考える機会になりました。



非常食体験！  
予想より美味しかった！



火起し初挑戦！  
美味しいご飯ができました♪



あい♡Sきっず 第1期生！



# 高校・一般住民



矢上高校福祉教育  
セミナー  
福祉教育に力をい  
れています！



養護学校の生徒さん  
とアイマスク体験！



権利擁護センター支  
援員要請講座にはた  
くさんの方が参加さ  
れました。



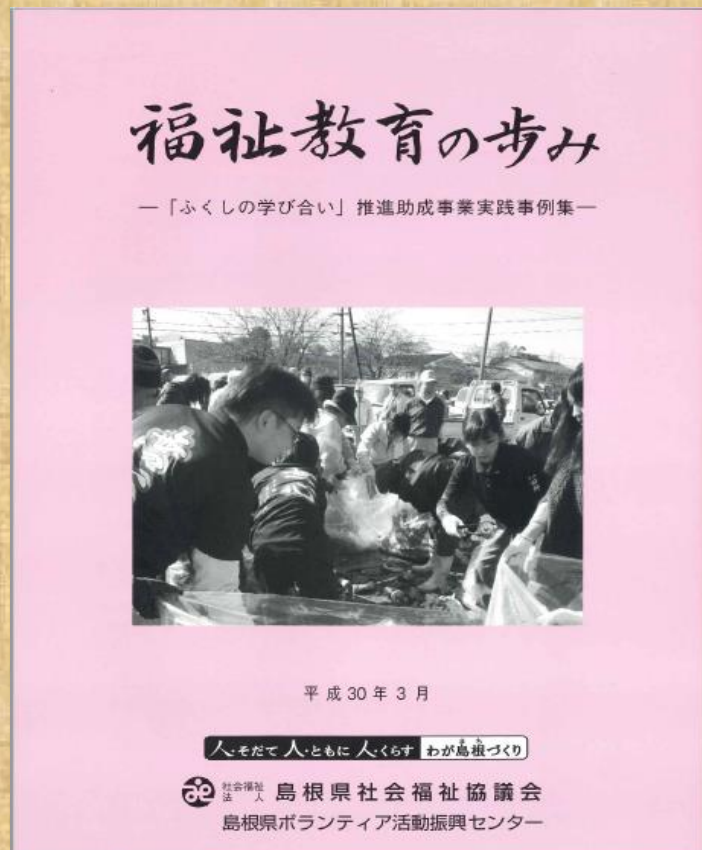
地域住民さんに  
「あいサポーター」  
研修実施。





# おおなん社協の困Q対策

- 地域包括ケアの推進  
⇒ **地域の貴重な“人材”**として
- おおなんふくしの学び合い（福祉教育）



第〇号

おおなんふくしの学び合い 修了証

 氏名 〇〇 〇〇 殿  
所属 〇〇〇〇〇〇

あなたは、邑南町社会福祉協議会の定める社会福祉に関する学習において“ふくしの心”の成熟に努め、全過程を修了されたことを証明します。

平成〇年〇月〇日

社会福祉法人邑南町社会福祉協議会  
会長 日野原 哲夫

**ふくし教育マインダー認定**

おおなんふくしの学び合いを修めたあなたは、“ふくし教育マインダー”です。この心得を行動する力に換え“ふくし教育マイスター（実践者）”を目指しましょう！

この事業は、赤い羽根共同募金の配分金を財源に、地域の支え合いの仕組みづくり（福祉教育）を推進しています。

邑南町社会福祉協議会



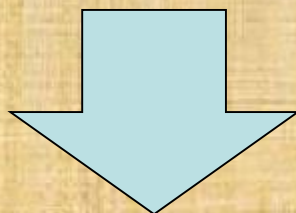


**町の施策と地域包括ケアシステムのコラボ**

**地区別戦略(地方創生事業)**

**地域包括ケア(介護保険事業)**

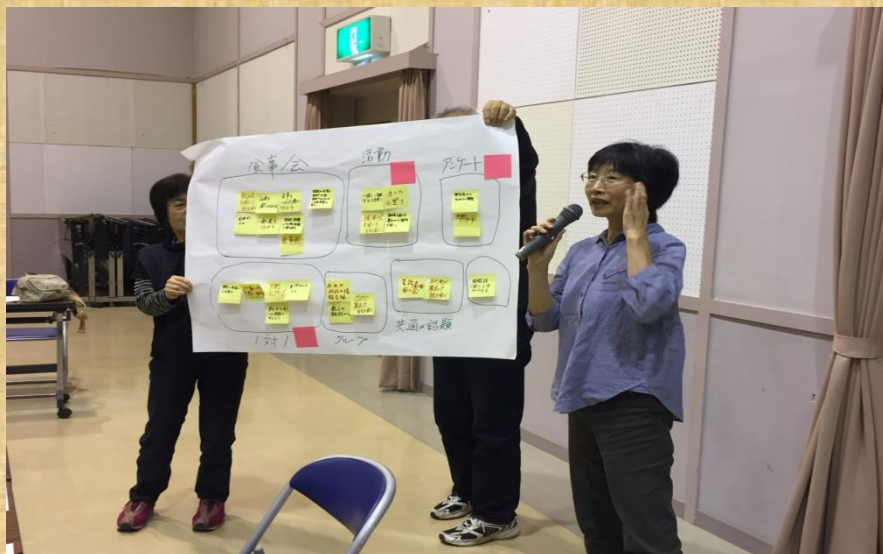
**2つの事業のコラボレーション  
(横断的な取り組み)**



**地域づくり**



# 「笑顔があふれる地域をめざしての座談会」





## 12公民館単位の地区別戦略の推進

明日が見える・地域が輝く 邑南戦略（邑南町版まち・ひと・しごと創生総合戦略）の具体的な施策の中で、「共に支えあう共助の仕組みづくりと地域コミュニティの自立促進」を実現するためのひとつの施策として「12公民館単位の地区別戦略の推進」を挙げています。

地区別戦略とは、邑南町の人口減少に歯止めをかけるためには、地域との協働による取り組みが不可欠であると考え、12の公民館エリアから地域に根差した特色ある人口減少対策を提案していただいた事業を各地区毎に集約したものです。

本町では、具体的な事業化に向けて相談体制の整備、学習機会の提供、予算の確保等を行い、地域と一体となって各地区別戦略の実現（アクションプラン作成）に取り組んでいます。

### ■提案事業について

ハード事業、ソフト事業ともに可ですが、次の3つの条件をお願いしております。

- 地域の人口減少に歯止めをかけるための事業であること（交流人口の増加を図る事業を含む）
- 地域住民が主体となって実施する事業であること（公共施設等の整備を伴う場合はその運営を地域住民組織等が主体となって行うものであること）
- 各自治会及び自治会連合会等で承されていること

### 中野公民館エリア

- 地域資源を活用した事業
- ・スタンプカードを活用した地域内消費の誘発
  - ・地域資源（タクシー会社、地元商店等）の活用
  - ・熟年婚活大作戦！！
  - ・40～50代に特化した婚活事業への参画
  - ・婚活イベント・コミュニケーション講座の開催

- 中野地区資源を活用した地域内6次産業化事業
- ・地域資源を把握し、地元産品を使った加工品の生産・販売の仕組みづくり
  - ・加工品のレシピ集を作成し町内外に周知

### 井原公民館エリア

- 地域発掘発見事業
- ・「井原を知る勉強会」で地域の歴史文化を学ぶ
  - ・「ノルディックウォーキングの町」邑南づくり事業
  - ・ノルディックウォーキング教室の実施
  - 『空き家管理はおまかせ』支援事業
  - ・空き家管理&日常支援サービス

### 布施公民館エリア

- 元気はつらつ地域経営事業
- ・配食や送迎などのサービスを構築し、いつまでも住み慣れた我が家で暮らせる仕組みをつくる
  - ・住環境整備による定住促進
  - ・農林業の効率化を図る

### 高原公民館エリア

- 古材（古民具、農機具）バンクの設置
- ・古材等保管バンクの設置
  - ・古材の集約及び販売等の管理体制確立
  - 「山の学校」「元氣な高原づくり」事業
  - ・山の再生と森林資源活用講座メニュー（環境整備含む）の確立
  - ・整備した景観を活かした事業の実施
  - 田舎でスロー体験
  - ・空き家と遊休農地を活かした都市住民との交流活動

### 口羽公民館エリア

- 地域資源を活かした多様な山村交流体験プログラム
- ・体験交流プログラムを立案・実践
  - ・川角集落での取組をモデル事業として展開し、地区全体に波及させていく
  - エネルギー自給地域を目指した地域内消費型木質バイオマスの研究
  - ・木質バイオマスの活用手法の研究
  - 多様な共同の終の住処の研究
  - ・「共同の終の住処」ニーズ調査と整備構想の策定

### 日和公民館エリア

- 武道・スポーツの里
- ・小学校跡地及び施設の有効活用
  - ・国名勝千丈溪の整備活用
  - ・特別天然記念物オオサンショウウオの生息地保護
  - ・「食の学校」の加工品や「農の学校」の農作物を活用した都市交流事業

### 日貴公民館エリア

- スローライフプロジェクト「ぬくもりのある心豊かな田舎暮らし」
- ・旧豪農屋敷を代表とした名所旧跡の観光交流スポット活用事業
  - ひとのぬくもりいっぱい子育て・定住プロジェクト
  - ・邑南町12地区の魅力発信
  - ・体験型空き家ハウスを活用した短期滞在体験、神楽体験ツアーの実施
  - ・空き家バンクの整備及び情報発信
  - 日貴地区営農多角化・6次産業化事業
  - ・農地を集積させ、多品種野菜を周期的に栽培・収穫を行う
  - ・収穫野菜の一部を加工し特産品を開発する

### 矢上公民館エリア

- やまんばの里づくり大作戦
- ・やまんば洞窟・原山登山道整備事業
  - ・地元産品を利用した加工品や「やまんば」を冠した料理を創造する「やまんばグルメ事業」
  - ・町中散策用パンフレットを作成しボランティア提案する「町中ぶらり事業」
  - ・保育園児から高校生を対象とした体験学習を中心とした学習の場「やまんばの里地域学校」の創立

### 市木公民館エリア

- 市木宿再生事業
- ・「宿の学校」を創立しUターン促進及び後継者育成、遊休地域資源の活用を図る
  - ・後継者不足で廃棄した施設の改修・整備を行う
  - ・農林業やA級グルメ構想と連携した宿産業の確立
  - シルバーサロン（希望の園）事業
  - ・都市部から移住した介護福祉有資格者に事業参加を促す
  - ・デイサービス等の共同生活ができる施設の開設

### 田所公民館エリア

- 大きな賑わいの場創出事業
- ・道の駅瑞穂、産直市みずほの施設設備の充実
  - 田所まるごと大家族
  - ・若年世代の実行委員会を組織。既存イベントの企画を充実、世代間・地域間交流の促進
  - ・地域活動の共有化や町外出身者に情報発信のためにHP開設
  - Uターン者総合支援事業
  - ・空き家のデータベース化、相談窓口の設置

### 出羽公民館エリア

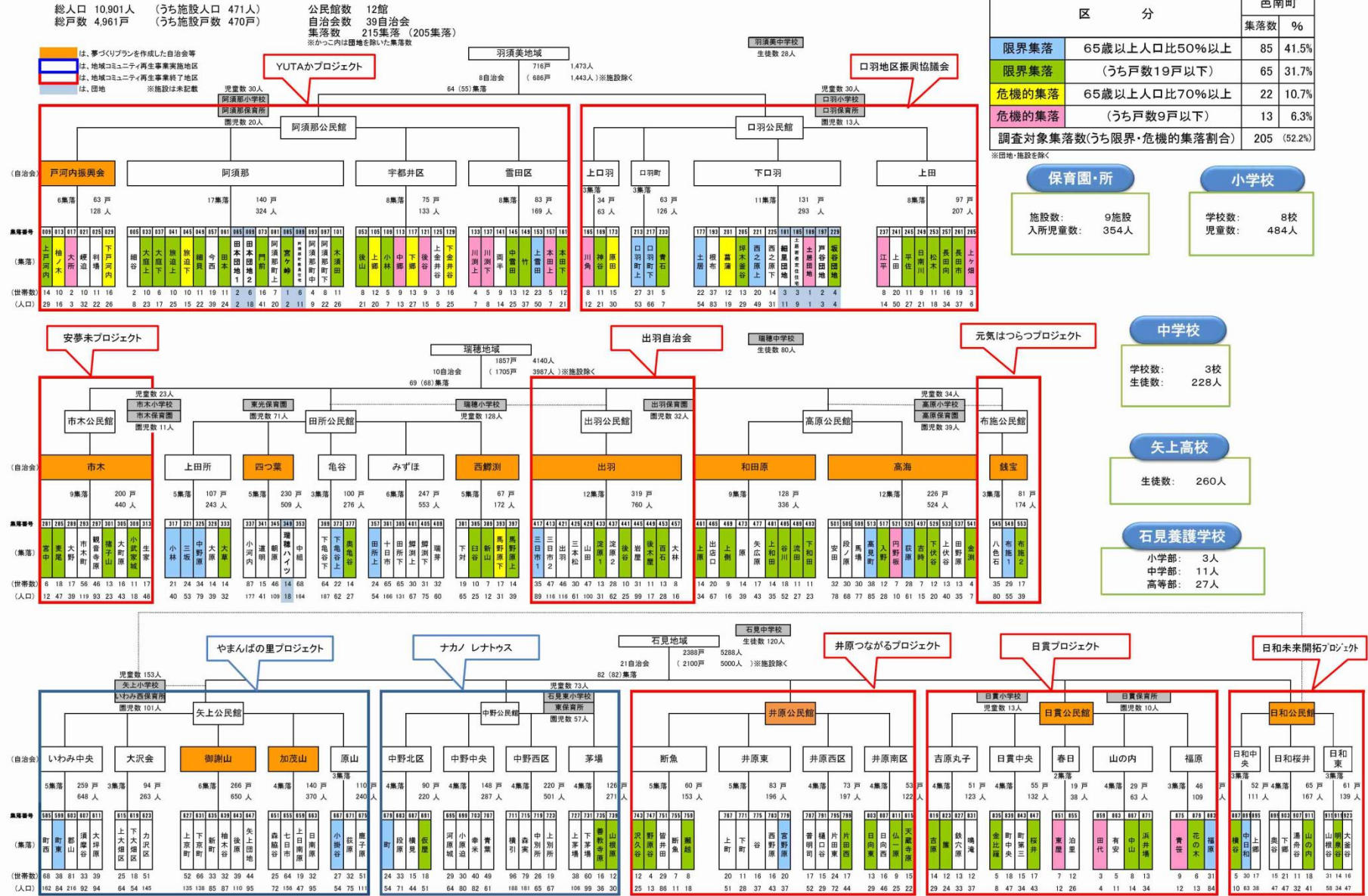
- 出羽暮らしリクナビ事業
- ・多様な人材を募集し、出羽での暮らしをサポートする
  - 地元産品による地域内6次産業化事業
  - ・新商品の開発
  - ・小規模生産者及び加工者、販売者のネットワーク化
  - ・地元企業と連携した加工販売システムの構築
  - 空き家改修資金のための邑南町信用保証事業
  - ・自治会不動産事業実施のための公的融資事業
  - ・邑南町に信用保証協会の役割を担うよう要望する

### 阿須那公民館エリア

- 阿須那まるごと交流事業
- ・キャンプ場運営体制の確立
  - ・農家民泊の開拓と連携
  - ・地区内施設等への食材提供体制の確立
  - ・体験交流プログラムを構築&情報発信
  - 阿須那定住促進事業（出身者交流会の実施）
  - ・地区全体規模の地区民運動会の復活
  - ・町外在住の地区出身者との交流会の実施
  - 阿須那歴史調査事業
  - ・地区の伝統行事・歴史を次世代へつなぐため、古老や識者から聴取し資料集を作成する
  - ・作成した資料は地域や学校などでふるさと教育に活用し、愛郷心を醸成することで地域の活性化や将来的なUターンにつなげる



# 邑南町自治会・集落・公民館体系図(H30.4.30現在)





# 銭宝地域の取り組み事例・・・①

## 寄り合い処＋くらしの応援隊

郵便局

商店

サロン田屋

布施公民館

銭宝地区別戦略実行委員会





# 【錢宝地域の概要】

## 世帯

- 65歳以上のみの単身世帯
- 65歳以上の夫婦世帯
- 65歳以下の世帯、同居世帯
- ◎ 介護施設等入所

## 空家の状態

- 時々帰省、維持管理
- 状態良好
- 要改修
- 不良

布施2集落

布施1集落

八色石集落

- 産業 農業(水稻、野菜)
- 自治組織 自治会(3集落)
- 地域の拠点 公民館



## 【錢宝地区別戦略実行委員会】

委員長:自治会長兼任

事務局 — 副委員長

総務部会

健康福祉部

農林振興部

定住促進部

## 健康づくり・介護予防推進事業

## ○ 目 標

- ・ 集いの場開催
- ・ 集いの場支援員のボランティア養成
- ・ 介護認定者率2%減少 \* 男性 27.5%  
女性 20.4%

## ○ これまでの成果

- ・ 集いの場(運動教室) 毎週 開催
  - ・ 集いの場(いきいきサロン) 年4回開催
  - ・ 集いの場支援の食のボランティア 20名 登録
  - ・ 生活支援のボランティア 10名 養成
- 銭宝のくらし応援隊を結成

## ○ 今年度の目標

- 集いの場を定期的に開催
  - いきいきサロン 月1回
  - 小規模の集いの場 週1回

\* 65歳以上の認定者率男性

資料:邑南町「地区別戦略実現化支援業務」

報告書 平成30年3月



# サロン田屋の対象者等

対象者・スタッフ

● 対象者

◎ スタッフ

龍岩保養館

布施公民館

サロン田屋

○ 対象者数 :45人

(布施1:14人 布施2:9人 八色石:22人)

○ スタッフ人数:11人



# 【サロン田屋の状況 11月16日】





# 【運動教室】

# 【いきいきサロン】



ホケない小唄  
(お座敷小唄の替え歌)  
風邪と云ふは、転ばすに  
笑い忘れず、聞く落す  
頭と足腰、使う人  
元氣ある人、ホケません  
ニ スポーツ カラオケ 囲碁 俳句  
趣味のある人、味もある  
異性に、持たなら  
色氣ある人、ホケません  
三 歳とつても白髪でも  
しわがふても、氣が若い  
演歌唄って、アンコール  
生きている人、ホケません



銭宝まんまによる食事提供



## 【銭宝のくらし応援隊】 (県社協の「新たな支え合いファンド助成金」事業)

### ○ 活動目的

銭宝地区で安心して住み続けることができるように、継続可能な支え合いの仕組みを作る

### ○ 生活支援サービス

- ・ 対象者：銭宝地区の住民・周辺地域の希望者

### ○ サービス内容

|        |                      |
|--------|----------------------|
| 外出支援   | 病院、役場への付き添い、買物、サロン   |
| 屋外作業   | 草刈、草取、墓掃除、軽作業、除雪     |
| 屋内作業   | 障子の張替、物置の整理、ゴミ出し、軽作業 |
| 家事の手伝い | 掃除、洗濯、炊事             |
| 配食サービス |                      |
| 生活支援   | 安否確認、友愛訪問            |

### ○ 運営委員会 月1回

- ・ 構成員：各集落委員、銭宝ブロック長、健康福祉部、町社協

### ○ 事業展開に向けて活動中



# 銭宝のくらし応援隊

## まずは 草刈りから

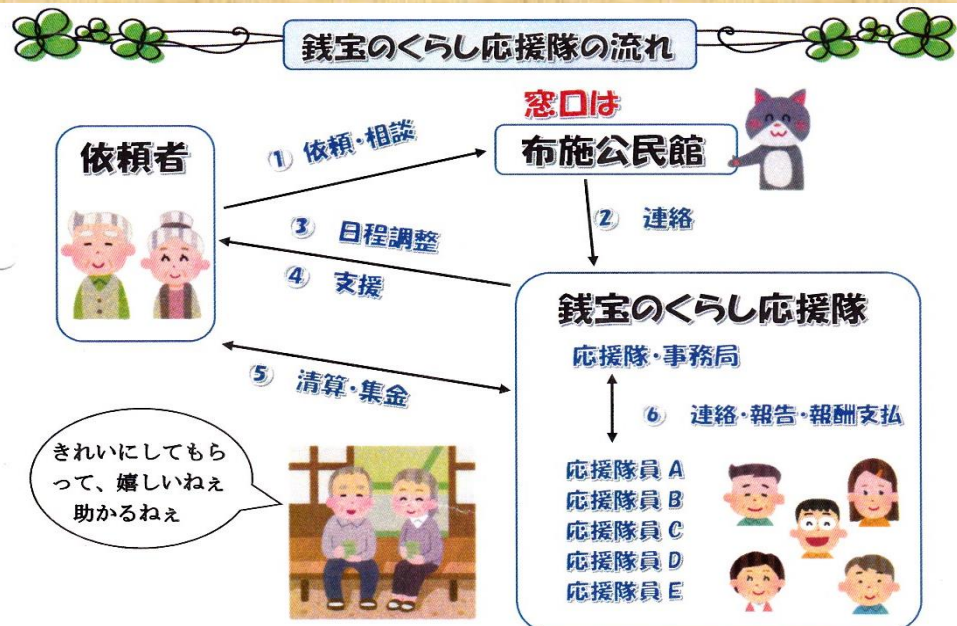
おためし期間として、しばらく行いたいと思います。

☆対象 65歳以上の独居の方 75歳以上の高齢者世帯  
障がいのある方  
家のまわりの草刈りをします。

☆料金 1時間 1,350円(労賃・燃料代・事務費等)

☆その他 今回は草刈りですが、お困りのことがありましたら  
ご相談ください。

※申し込みは、布施公民館までお願いします。 ☎ 84-0651 IP 050-5207-5600



銭宝のくらし応援隊運営委員会

## ○ 実績 草刈

暮らし応援隊登録者 9人

| 対象者   | 件数 | 延べ作業人数 |
|-------|----|--------|
| 単身高齢者 | 3  | 11     |
| 施設入所者 | 2  | 8      |
| 空き家親戚 | 2  | 8      |
| 計     | 7  | 27     |





# 布施地区の取組（寄り合い処）



## ■取組の概要

「だれもが、この銭宝で幸せにくらし続けられるように」という想いで、銭宝地区別戦略実行委員会健康福祉部が中心となり、集いの場を定期的を開催

## ■寄り合い処の様子



↑ 健康チェック(血圧測定)



↑ 健康体操



↑ 銭宝まんまによる食事の提供 ↑



## ■ここがポイント！

### ○地区全体と小規模の集いの場

- ・地域交流の場として布施地区全体で月1回「いきいきサロン」を開催
- ・ひきこもりがちな高齢者を対象に、週1回小規模な「サロン田屋」を開催

### ○みんなでつくるサロン

- ・サロンの参加者がお客さんになるのではなく、一緒に食事づくりを行うなど  
**みんなでサロンを運営**

### ○健康づくり・介護予防推進

- ・サロンの中で**健康体操**や**健康チェック**、などを実施
- ・いきいきサロンでの、食のボランティア「銭宝まんま」による**栄養バランスのとれた食事の提供**

## ★これまでの効果★

- ・**男性の参加**が増えてきている
- ・これまでなかなか参加されていなかった高齢者の方の参加も徐々に増えてきており、**見守り**になっている
- ・サロン運営に関わる**スタッフ**が増えてきている
- ・その他の活動として、生活支援の機運が高まり、**ボランティア組織（銭宝のくらし応援隊）の立上げ、草刈り支援**などの取組が進んでいる



# 日和地区の取り組み事例・・・②



## × 陽だまりの家

- 目的：** 地域が主体となって、地域を元気にすること。  
そのために、多様な課題発見、解決に取り組む活動などを目指した寄り合いを続けていくことを目的としています。  
老若世代を問わず、また、地域に暮らす住民だけでなく、地域のそとで暮らすかたとも関係を築きながら、それぞれが地域の主役となり表現する小さな舞台としてヒワココ×陽だまりの家を継続していきます。
- 場所：** 島根県邑智郡邑南町日和1015番地 JA日和店舗内
- 運営：** 日和地区総合振興協議会
- 設備：** ヒワココ / 水洗設備、テーブル、イス、ピクチャーレール  
陽だまりの家 / 水洗設備  
(トイレはJA日和店舗を利用)
- イベント：** 数時間から1日を目安として、前面駐車場も活用し開催。平成31年4月13日にオープニングイベントとして、“ごはんがススム、おつけものカフェ”を開催。
- 企画展：** 数日間から1か月間程度を目安として開催。  
現在、令和元年9月に小学生以下の作品による“小さな美術館（仮）”を計画中。
- 井戸端：** イベントや企画展の開催がない日も、店舗の一部の井戸端の場所として活用。  
気持ちのいい窓辺の空間としてデザインしています。





▲竣工写真



ヒワココ

▼イベント写真





日和★ヒワココ  
オープニングイベント

# ごはんがススム、おつけものカフェ

シンプルですが、日和のうまいものをご用意しております。

おひとり500円、おかわり自由。

・日和の白米

・日和のおつけもの

・汁もの

・黒豆茶

・日和の箸置き発売！

ヒワココ

2019.4月13日(土) 10:00 - 15:00  
10:00より、オープニングセレモニー開催！

※カフェは売切れ次第終了。JA日和店舗は通常営業しております。

場所：ヒワココ前（邑南町日和1015 JA日和店舗前）  
お問合せ：日和青年部(湯浅)090-7999-7753



# 中野地区の取り組み事例・・・③

中野レナトゥスによる買い物弱者支援&見守り

## 《移動販売車》 見守りスーパー

### 「にこ丸くん」 運行取組みの概要



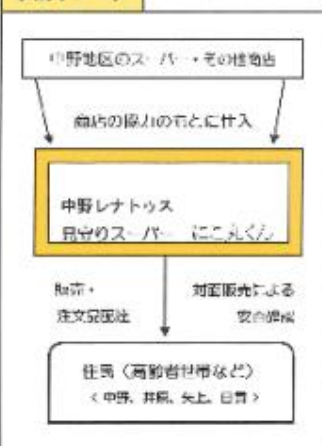
#### 概要

- ・安売して暮らし助けていくために、「買い物弱者支援・高齢者の見守り」の合わせ技として実施
- ・30年2月地区別戦略実現事業補助金活用により移動販売車を導入し中野区高齢者センター車庫に駐車。地元の高齢施設と連携強化により借上げ
- ・30年6月から運行を開始。現在中野、井原、矢上、日暮の約25ヶ所を週2回（火曜日と金曜日）訪問している。高齢者等の夜間徘徊や困りごと相談にも対応するため、戸別訪問・対面販売方式で行っている。
- ・販売員は1名、補助員1名、車の計入時は2名のボランティアの計4名で運営中
- ・補助金充当は販売員会費、燃料代及び着上料
- ・既存小売店の周辺での立ち寄りには配慮している。

#### 【中野地区基礎データ】

世帯数 580戸 人口 1,205人  
高齢化率 38.5% 高齢者世帯 189戸

#### 事業イメージ



#### 現在の課題と今後の展望

##### 【現在の課題】

- ・組織としての体制が十分でなく、また、情報発信ができておらず、住民の認知度が低い
- ・販売員の交代要員、仕入要員共事務員(女性)目録での仕入れ、結算・経理事務、電話対応などの業務が不十分、併せて看護福祉資格者等の人材確保
- ・移動販売の訪問世帯、運行日の立から、安定した運営ができる状況でない
- ・見守り、安否確認を始めた生活支援のため、町、町民会、カヌー社、民生委員などのネットワーク構築と公的福祉連携の確保
- ・仕入れ方式のため売れ残りによる食品ロスが生じている

##### 【今後の展望】

#### ～ 持続可能性の確保に向けた取組み ～

- ・人材の確保を行い、移動販売の範囲、訪問世帯、運行日の拡大を図っていく
  - ・範囲を半径10～15kmに拡大、他地区・他地域の希望者を対象とする
  - ・売上の水曜日と金曜日のコース25世帯を40～50世帯とし、さらに水曜日と木曜日のコースを確保するなど、車を減らし運行を計画する
  - ・販売員、看護福祉などの人材確保についても町内全域から募集する
- ・組織体制を整えた上で、メディア等の協力を得て幅広く情報発信を行い町民への認知、訪問世帯の確保を図っていく
- ・食品コストをなくすため、また、多くのアイテムから選んで買い物を楽しんでもらう観点から協力店舗と協議していく
- ・見守り、安否確認、生活支援の面からも福祉関係機関との連携調整的な会議を計画する
- ・少しでも移動販売申請文で採算が取れる運営の独立採算を目標にいく
- ・他の地区、他の地域との連携により持続可能な事業展開を推進させる

品川町地区別連絡実務事務局

中野レナトゥス

TEL 0855-05-0882 (fax 同)

〒695-0102

品川町品川中野 744-2

ドリームプラザ さすな保内

#### 事業によって得られている成果

- ・訪問世帯数、売上げ、仕入れ、客年値ともに徐々にではあるが増加している。
- ・仕入経費は「月末締め・翌月末支払」で滞りなく支払いができています。
- ・タクシー等を利用していた独居高齢者、また、免許返却を志していたという高齢者、さらには車いす、かきばる車庫をもち帰っていた白痴車、バス利用の高齢者などから「助かる」と大感激はされている。
- ・自分で見て選んで買い物を楽しんでいたという高齢者、御用聞きも行っており、次回訪問時の予約や前日注文の電話も増え、円滑な販売ができています。
- ・冷凍庫も稼働しており、冷凍食品、アイスクリームも売れている。豆腐などの日持ち、コロッケや魚フライ、味噌汁などの惣菜、刺身、和食、パン、飲料、果物などが売られている。
- ・対面販売のため、相談と変わったことはないが夜間徘徊が起き、また、熱中症対策、安否確認など声かけも行っている。高齢者世帯と信頼関係ができてきたと感じている。
- ・看護福祉資格を有した補助員が現在就任しており、不登校を訴えた高齢者の相談に応じ血圧測定を行い、眼薬忘れの指摘に至ったケースもあった。

#### 日々の暮らしを支えます。待っている人のために・・・

農産物に困っている方のために、お豆腐、お魚、お肉、お野菜、お果物、お漬物にパンに日用品まで、たくさん揃って伺います。無用のものは注文も受け付けず、次回訪問時にお届けします。対面販売を通じて高齢者等の皆さんへの声かけや見守り、困りごと相談にも対応していきます。





# 社会福祉法人等の取り組み事例



お問合せ・お申込みは事前に電話もしくは総合受付にて直接お申し出ください。

- 送迎を希望される場合は事前にご相談ください。

開催場所 邑南町上田所39番地5  
ケアセンター三笠 1Fリハビリホール

連絡先 TEL (0855)83-2050

担当 大矢・上田まで(みかさ土曜サロンについてとお尋ね下さい)

地域の高齢者の皆様やご家族様と、当施設のスタッフが集い、皆様の体験談を聞いたり、介護のヒントやアドバイス等提供させて頂いています。

## みかさ土曜サロン

参加者募集中!!

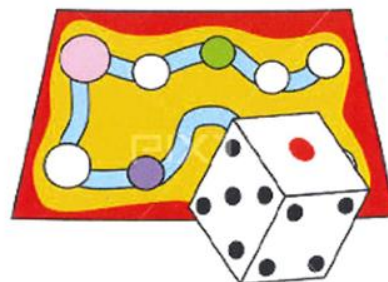
脳トレで、心も体もポカポカ陽気!!

場 所 ケアセンター三笠 1Fデイ・リハビリホール  
日 時 3月16日(土曜日)  
時 間 9:30~11:30  
定 員 20名  
内 容 コグニサイズ・脳トレゲームを各種実践します。

参加費 100円(コーヒーお茶を準備しています。雑談などとしてください。)

講 師 徳祐会 通所リハビリスタッフ

申込み先 ケアセンター三笠 担当 上田 TEL 83-2050



どなたでも、ご参加自由です。





## 今後は・・・

邑南町版の地域共生社会の実現に向け、「地域包括ケアシステム」と「地区別戦略」との協働や関係部局等の横断的な取り組みによる地域づくりが必要である。また、社会福祉法人の強みを活かした地域貢献活動との連携も不可欠である。

- ・人材や財源での地域貢献
- ・中間的就労準備支援と就労
- ・延長＆祝祭日の保育
- ・「集いの場」の提供と運営
- ・生活支援（制度外のサービス）
- ・シェルター的な役割